



# むつらぼし

東京都立総合工科高等学校  
進路指導部  
№3 令和5年 3月 1日

15期生のみなさん 御卒業おめでとうございます！！

今年も170名のみなさんが、自己の将来を見つめつつ、確かな目標をもって新たな世界へ旅立ちます。3年生のみなさんは進路先での体験を、ぜひ後輩たちに伝えに来てください。成長した姿を楽しみにしています！！

1、2年生のみなさんは、15期生が築いてくれたものを礎に、総合工科高校で新たな道を4月から仲間となる新入生と共に切り開いて行きましょう。



15期生 進路状況  
進路状況(卒業予定者 170名 3月1日現在)

	機械・自動車科		電気・情報デザイン科		建築・都市工学科		合計	%
	1組	2組	3組	4組	5組	6組		
四年制大学	12	0	5	14	12	7	50	30
短期大学/高等専門学校	0	0	1	0	0	0	1	
職業能力開発総合大学校	0	0	0	0	0	0	0	
専門学校・各種学校	5	10	7	4	4	6	36	24.1
職業能力開発センター	0	0	3	2	0	0	5	
就職	9	13	15	3	16	10	64	37.7
受験予定	4	1	4	3	1	0	13	7.6
その他	0	0	0	0	1	0	1	0.6
合計	30	24	34	24	35	23	170	100

## 担当者からのメッセージ

### 卒業生へ

2023年卒業の15期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

希望を胸に、4月からそれぞれのフィールドへ旅立つ皆さんを送り出すことができるのは、私たちにとっても大きな喜びです。この3年間、順風満帆の高校生活ではなかったと思います。コロナ禍で修学旅行は中止、すばる祭や総工祭などの学校行事も中止や縮小になりました。部活動も制限がかかり、かいつぱい声を出したり、仲間を応援することができず不完全燃焼だったことでしょう。マスクを常時着けているのが煩わしくてとってしまっ、注意されている姿も多く見受けました。そんな状況下でも皆さんは毎日登校し、元気に高校生活を送ってきました。素晴らしいと思います。そして皆さんが当たり前と思っている毎日のお弁当を作ってくれたり、掃除や洗濯をしてくれて、見守ってくれた保護者の方々の頑張りにも頭が下がります。卒業後は是非、皆さんから感謝の言葉を伝えてあげてください。

さて、皆さんの進路状況は一覧で配布しました。例年に比べ専門学校への進学者の割合が低かったように思います。その分、就職者の割合と大学進学に向けて受験中の生徒の割合が高くなっています。

大学については、例年通り、指定校推薦での進学が主でした。志望理由書の作成、面接練習で苦勞した生徒が多くいましたが、よく頑張りました。小論文や口頭試問のある大学もありましたが、何とかクリアできてよかったです。また、自分の目指す大学、学科が別にあり、公募推薦や総合型選抜、一般選抜で受験するという傾向が年々強くなっています。残念な結果もありましたが、千葉大、都立大といった国公立に合格者が出たのは、皆さんのチャレンジ精神が実を結んだ結果と言えるかと思います。

ただ、大学で学んでいく基礎学力が十分ではない進学者がいることも否めません。進学後に留年、中退している生徒も少なくないのが現実です。皆さんも基礎学力が不十分であることについて、自覚があると思います。コツコツと地道な努力を重ねていくことを希望します。

専門学校については、今年度も順調な結果でした。文部科学省が大学の定員を柔軟化する方針を打ち出したのに伴い、専門学校受験者が減少傾向にあるとのこと。とはいえ、動物系、定評のある工業技術系は定員充足が早かったのも、皆さんがしっかりと合格を勝ち取ったのは素晴らしいことです。2年制の専門学校では、入学後1年目にもう卒業制作に入り、完成した者から就職活動に入るところもあると聞きます。資格取得も重要です。羽を伸ばしている暇はありません。2年後にはしっかりと就職を決めて、報告に来てくれると嬉しいです。

就職については、コロナ禍にあっても好調でした。ものづくり系の会社は人手不足で、皆さんのように高校である程度の技術を学び、資格を取得している高校生を求めています。ただ、上場企業になると、適性検査と面接対策を十分に行って就職試験に臨むことが必要だったと思います。遅くまで残って志望理由書作成や面接練習をした生徒はその成果が出たことを自覚したことでしょう。

3月4日、卒業を迎えます。当たり前の日常が一変する中を乗り越えてきた皆さんです。卒業後はもっと大きな生活の変化にみまわれるかもしれませんが、くじけずに、自分らしく、そして人として恥ずかしくない人生を歩んでいってください。

皆さんの前途が揚々たるものであるよう、祈っています！

進路指導部 一同



## 進学担当

1、2年生の皆さんは、学年末考査が終わりホッと一息ついたところだと思います。(単位が危なくてハラハラしている人もいるかもしれませんが…)これから4月の新学期開始までの期間、自由な時間が増えるかと思います。「ずっと遊んでないで勉強しなさい。」なんて野暮なことは言いませんが、せっかくの「じっくり考えることのできる時間」なので、自分の進路について「自分で」考えてみて欲しいです。(2年生は当然として、1年生も考えて欲しいです。)

それは分かっているけど、「何をどう考えればよいのか、よくわからない。」という人も多いかと思います。そんなときは、「わからない状態でもよいし、整理されてなくてもよいので、自分の思っていることを誰かに伝えてみる。」と一歩前に進むことができます。

重要なのは、自分の頭の中だけで「考え込む」のではなく、言葉や文字として「形に残す」ことです。形に残すことで、自分を客観的に見つめることができるし、まわりの人からも意見がもらえるようになります。このような機会を数回繰り返していくうちに「自分にとって何が大事なのか」、「これからどんな方向に進んでいきたいのか」が薄っすら見えてきます。そして、少しずつまわりの人が皆さんの夢の実現を応援してくれるようになります。

この春休みの期間は皆さんが自分を変えるチャンスです。一歩踏み出せば、見える世界観が一変するかもしれません。進路指導部の教員は皆さんが進路指導部の扉をノックすることをいつでも歓迎します。(1年生も遠慮せずどんどん来てください。)

## 就職担当

進路を考えるということは、幸せな人生とは何か、人生をどう生きていくことがよいかを考える事です。なんの職種に就くのか、どこの企業や団体等に就職するのかを決めることだけではありません。

それには、自分の性格、能力、適性などを深く見つけ、夢や希望を、どのように実現したらよいかを考えることが『進路』なのです。

自分の可能性をもっと広げようと思って進学する人もいますが、高校を卒業したあとすぐに社会に挑戦しようと考えているひともし少なくないと思います。

さて、本校の今年度の就職状況ですが、学校推薦による民間企業就職希望者は約65名(縁故就職者を除く)に対して、求人件数は7月上旬で千数百社からの求人をいただいています。生徒のみなさんにとってはコロナ禍でありながら、恵まれた状況でした。

ここで、生徒のみなさんには、就職活動というものに取り組むに当たって必ず考えてほしいことが「何のために働くのか」ということです。なんとなく就職しようとか、しかたなく就職しようとかいうことだけで就職活動することはしないで、もう一度「何のために働くのか」を考えてください。やりたい仕事は何なのか、自分は仕事に何を求めているのかに関して考えることは非常に重要です。しかしながら自分のやりたいこと探しにばかり夢中になり、どうすればそのような職に就くことができるのかということを見落とし、結果、就職できないのであれば元も子もありません。就職活動を始める前に、就職活動とは「職に就くための活動」であるということを再認識してください。

就職活動に際しての心構えに加え、実際に職業を選択するときに肝に銘じておくべきことを三つ挙げておきます。

① 自己分析をする。② 職業に対する認識を高める。③ 自分に適した職種を見極める。

より良い進路実現に向けて頑張ってください。

### 進路希望実現への重要3項目(1・2年生の皆さんへ)

成績・出席状況といった数値は努力の証<sup>あかし</sup>です。是非以下の項目を胸に刻み、進路実現に向けて早い取り組みを見せてください。

#### (1)「卒業見込み」

① 3年生の段階で「卒業見込み」が立たないと、進路活動ができません。

大学等の受験資格には、当然「卒業見込みの者」と明記されています。

< ~ 高等学校を卒業、または令和〇〇年3月卒業見込みの者。 >

② まずは、3年生1学期の成績会議で卒業できるだけの単位数を修得する見込みがあるかどうか判断されます。

本校の卒業単位数は、「81単位以上(専門科目25単位以上を含む)」となっています。本校の生徒は、ほとんどが推薦を得て進路希望を実現しています。この時点で見込みが立たないと、進学及び就職にかかわる推薦が得られず、進路実現が厳しくなります。また、「卒業見込み」であっても1科目でも評定「1」があると進学・就職とも非常に不利になります。

#### (2)「全体の評定平均値」(成績)

① 「全体の評定平均値」とは、1年次から3年次までのすべての科目の成績の総平均値です。

② 実際の進路活動では、3年生1学期までの成績が対象になります。

この時点での数値が、指定校推薦や就職の校内選考、学校推薦型入試の出願条件の際に使われます。

③ 「全体の評定平均値」のほか、「各教科の評定平均値」が条件になる場合があります。特に理工系大学の場合は、数学・理科・英語の数値が重要になります。

④ 得意な教科・科目のみならず、苦手な教科・科目への取り組みと克服が大切になります。

#### (3)「出席状況」

① 「欠席・遅刻・早退」の数値は、その人の基本的な生活習慣と学校生活への意欲の証<sup>あかし</sup>となります。

② 就職はもちろんのこと、進学においても推薦条件として数値を示す学校が多くあります。

③ 進学や就職の校内選考でも、「出席状況」の数値は選考基準になります。大学・短期大学における指定校推薦に関しては、「出席状況」を以下のように換算した数値が40を超えていないことが校内応募条件になっています。

「欠席は一回につき3、遅刻は1、早退は1と換算する。」

④ 「出席状況」の数値は増えることはあっても、減らすことはできません。

— 生活態度や特別活動も含め、高校生活3年間のすべてが評価されます。

